

あまとろ病ん娘 yan musu

～ゆかりとお風呂で
いちやラブしましよう？～

キャラクター設定資料

制作：あまとろスイーツ
<http://amatotorosweets.x.fc2.com/>

シナリオライター：新條にいな
<http://blog.livedoor.jp/niinashinjou/>

<キャラクタープロフィール>



氏名：一ノ瀬 紫（いちのせ ゆかり）

学校：私立星稜（せいりょう）学園 特別進学コース（理系）2年生

身長：159センチ

聞き手の呼称：あなた

性格：真面目すぎる……とよく言われます

誕生日：4月25日

血液型：A型

学力：学年トップクラス

特技：フルート

好きなもの：あなた、ドール達、正しい世界

好きな食べ物：好き嫌いはありません。すべて大切に食べます

胸：Gカップ（「大きい」とからかわれる所以、あまり好きではありませんでした。でも、あなたは好きだと言ってくれるので、最近は前向きに受け止めています）

将来の夢：あなたの子どもを産み、正しい家庭を作ることです

部活：帰宅部（中学時代は生徒会と吹奏楽部）

一人称：私

動物に例えると：小鹿

チャームポイント：目尻のほくろ

口調：丁寧で折り目正しい

好きな言葉：誠実

あなたに望むこと：いつまでも、正しくて心優しい、今のままのあなたでいてください

【人柄】

成績優秀、容姿端麗、家柄も素晴らしいお嬢様。

立派な両親に清く正しく育てられた、生真面目な性格の優等生。

道徳心が強く情が深い一方で、不正を行ったものには厳しく、冷淡な態度をとる。

中学時代までは明るく活発で輪の中にいたらしいが、現在は物静かで一人で過ごしていることが多い。

人当たりはよく、クラスメートや先生には頼りにされている場面もみられる。

しかし、目立つことを嫌い、部活や委員会には所属していない。特定の友人もおらず、主人公以外に心を許す人間はいない様子。

中学時代は生徒会長を務め、吹奏楽部でもフルートを吹いていた。当時から有名で、表彰歴や地域新聞に載った経験もあり、主人公も一方的に存在を知っていた。

そのように目立つ存在だった彼女が、私立星稜（せいりょう）学園入学以降、今のような性格に変わった原因は不明。

子どもの頃から一緒に「リコちゃん」人形を非常に大切にしており、彼女を中心としたドールハウスなど、自分だけの箱庭空間を作るのが趣味。

「正しい世界」を構築することに喜びを感じている。

人を信用することは滅多にないが、動物には優しい。消毒液を携行しており、潔癖気味。

【バックグラウンド】

父・母・年の離れた兄の4人家族。兄は家を出ており、年に数度しか帰ってこない。

町はずれの大きな日本家屋に住んでいる。

父は大企業の重役で、母は中学校教師。兄は別の地域の有名大学に通っている。

一見完璧な家族だが、父親には愛人がおり、もう一つ別の家庭がある。

中学時代、その事実を知り、父を軽蔑するとともに直接糾弾したのがきっかけで家族関係が悪化。その際兄に「正しいことだからと言って、言ってよいことと悪いことがある」と叱られたのが、現在も理解できずにいる。あくまで不正を犯したのは父親であり、それを口にしただけの自分に非はないと思っている。

同時期、所属している吹奏楽部でも人間関係のトラブルが発生。親友に裏切られる。

以来、親しい友人を作らなくなってしまった。自分の正しさに賛同できない人間とは付き合う必要がない、と捉えている。

「正しいことを言うと、人は離れていく」「たいていの人は、耳に痛い真実が嫌い」と考えている。そのため、主人公には「あなただけは、絶対に正しい人でいてほしい」と願っている。というよりも「絶対に正しい人間であるはずだ」と理想を押し付けている面があり、都合の悪い面を無視し、過度な美化をしている。

しかし、そうすることでいつのまにか自分自身が、「耳に痛い真実を嫌う、現実を受け入れない人間」になっていることには気づいていない。

主人公こそが至上。主人公よりも心の美しい、正しい人間はいないと思っている。

また、絶対にそうであり続けてほしいと真摯に願っている。

＜あらすじ＞

「あなた」は私立星稜（せいりょう）学園に通う2年生。
同級生の紫と、交際一年を経て仲睦まじく暮らしています。
ある日、紫が両親の旅行のため家に一人になると知ったあなたは、心配して泊まりに行くことに。
すでに結ばれてはいるものの、実はこれまで、ずっとお風呂は別々だったあなたと紫。
だけど今日の紫は、お風呂であなたにしてあげたいことがたくさんあるようです。
生真面目で潔癖。清く正しく生きようとするあまり、ちょっと不安定なところもあるけれど。
誰よりもあなたを慕い、あなたを心の支えにしている紫のことを、どうか暖かく受け止め、愛してあげてくださいね。

